

# 横須賀市中小企業景況レポート

第 42 号 (令和 5 年 4 月号)

編集・発行：横須賀市経済部経済企画課  
〒238-8550 横須賀市小川町 11  
電話 046-822-9523

市内中小企業の景況感を調査しました。

調査対象は、かながわ信用金庫と湘南信用金庫が従来から行っている景況調査先のうちの市内企業に加え、横須賀市及び横須賀市産業振興財団がさらに追加調査しました。

3か月に1回発行しています。

【市ホームページからもご覧いただけます。】

[横須賀市中小企業景況レポート | 横須賀市](#)

<http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4402/keikyoreport/yokosukasikeikyuripoto.html>

- ① 調査対象：市内中小企業
- ② 調査企業数：159社（うち、かながわ信用金庫+湘南信用金庫 調査145社）
- ③ 調査期間：前期・・・令和4年10～12月の景況感（調査時点 令和4年12月1日）  
今期・・・令和5年1～3月の景況感（調査時点 令和5年3月1日）  
次期・・・令和5年4～6月の景況感（調査時点 // ）
- ④ 調査項目：景況、売上額、収益、雇用人員、資金繰り
- ⑤ 業種分類：製造業、建設業、卸・小売業、不動産業、サービス業
- ⑥ 集計方法：D I 値算出による（次ページにD I 値の説明あり）

## 景況及び4項目の調査結果（全業種）

\* D I 値調査結果は裏面に記載

\* 【 】は今期のD I 値を記載

**全業種の景況感は、前期の△11Pから6P向上し、【△5P】となりました。**

今期の景況感は、サービス業【0P】は20P大幅に向上し、建設業【12P】は19P向上しましたが、製造業【△26P】は17P低下し、不動産業【0P】は9Pやや低下しました。卸・小売業【△9P】は、横這いの状況です。

項目別では、すべての項目で横這いの状況です。

昨年同期（令和4年1月～3月）との景況感比較は、今期構成比【△7P】が、前期構成比【△14P】より、7Pやや向上しました。コロナ禍による影響は落ち着きが見られる一方、原材料費の高騰などにより、厳しい状況が続いています。

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（%）－悪い（少ない）等の構成比（%）を計算した値がDI 値となります。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

このレポートは次の基準で景況感を分類しました。（マイナスは△表示）

良い (15P以上)	やや良い (6P～14P)	変わらない (△5P～5P)	やや悪い (△6P～△14P)	悪い (△15P以下)
↑	↗	→	↘	↓

## 業種別 調査結果と事業者の声

\*DI 値調査結果は裏面に記載

\*【 】は今期のDI 値を記載

### (1) 製造業 景況感 【△26P <悪い> ↓】 (前期比 △17P)

前期と比べ、資金繰り【△12P】は9Pやや向上しましたが、売上額【△32P】、収益【△40P】は、それぞれ26P、24P大幅に低下しました。雇員人員【△43P】は横這いの状況です。

次期は、収益、雇員人員が向上し、売上額、資金繰りもやや向上する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・売り上げは、コロナ禍前の水準に戻ったが、材料費、電気代、燃料費の高騰が利益を圧迫している。
- ・1～3月の売上は、前年比5%減少。半導体不足に加え、海外からの部品・材料費等の輸入が停滞していることが主な要因。
- ・1～3月の売上は、前年比5%減少。主要受注先からの生産受注が減少傾向。国外のコロナ特需が終わりかけている。


### (2) 建設業 景況感 【12P <やや良い> ↗】 (前期比 19P)

前期と比べ、売上額【3P】、収益【△3P】は、それぞれ7P、11Pやや向上し、雇員人員【△44P】は9Pやや低下しました。資金繰り【△19P】は横這いの状況です。

次期は、資金繰りが向上する見込みですが、収益、売上額は、やや低下する見込みです。

#### ☆事業者の主な声☆

- ・大手民間企業や市町村等からの大規模現場が多数あり、受注は活況。材料の値上り分も工事代金に転嫁出来ているが、人件費などの労務費までは確保出来ないことが課題。働き方改革による労働時間の短縮と賃金アップという、相反する課題もある。
- ・人員が不足がちのため、人員確保が出来れば、更に工事に着手出来る余地がある。


**(3) 卸・小売業 景況感 【△9P <やや悪い> 】 (前期比 1P)**

前期と比べ、売上額【△4P】は8Pやや向上しましたが、雇用人員【△35P】は9Pやや低下しました。収益【△16P】、資金繰り【△15P】は横這いの状況です。

次期は、雇用人員がやや向上する見込みですが、売上額、資金繰りはやや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・食品等の卸売価格上昇が続くが、販売価格への反映が追い付いていない状況。
- ・多くの品目が値上がりしており、顧客の買い控え感が出ている。また、客単価も下がっている印象。
- ・売上は堅調に推移している。一方、商品仕入価格の高騰や卵の供給不安定などもあり利益を圧迫している。

**(4) 不動産業 景況感 【0P <変わらない> 】 (前期比 △9P)**

前期と比べ、収益【17P】は17P向上し、売上額【17P】、資金繰り【25P】はそれぞれ8P、7Pやや向上しましたが、雇用人員【△17P】は17P低下しました。

次期は、売上額は、やや向上する見込みですが、収益、資金繰りが、やや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・原材料価格高騰の影響は続いており、新築戸建ての販売価格は1.3倍程度と高く推移している。仕入れ物件が不足しており、今後も情報力を強化し、物件在庫を確保したい。
- ・材料価格高騰等の影響もあり、横須賀市内の不動産の動きが鈍く物件の数も少ない。今後は中古住宅やマンションを自社で買取り、リフォーム再販PJに取り組むなど、売上の仲介手数料による売り上げに偏らない営業体制を構築する。

**(5) サービス業 景況感 【0P <変わらない> 】 (前期比 20P)**

前期と比べ、売上額【9P】、収益【△3P】、雇用人員【△20P】が、それぞれ14P、6P、11Pやや向上しました。資金繰りは横這いです。

次期は、売上額、収益、資金繰りが、やや低下する見込みです。

☆事業者の主な声☆

- ・コロナ禍の影響が薄れ、地元客の来店が増加した。大きな宴会はないが、小規模の宴会は予約が入るようになってきた。
- ・売り上げは回復しているが、コロナ禍前の水準には程遠い。地元固定客及びテイクアウトに注力し、売上増加を図る。
- ・昨年に比べ自粛が緩和されたことで客足が戻ってきている。原材料費高騰を受け、飲料全般の値上げを実施し、料理価格の値上げも検討中。

DI値 調査結果



前・・・前期 令和4年10月～12月の景況感（調査時点 令和4年12月1日）  
 今・・・今期 令和5年1月～3月の景況感（調査時点 令和5年3月1日）  
 次・・・次期 令和5年4月～6月の景況感（調査時点 令和5年3月1日）

業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	157	32	29	50	11	35
今期	159	35	32	46	12	34
次期	159	35	32	46	12	34

(単位：ポイント)

項目	業種			全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況																					
景況全般について総合的な概況をお聞きました。																					
良い(A)	20	23	21	22	11	11	17	28	25	22	24	17	27	17	33	17	29	26			
変わらず	49	49	56	47	52	63	59	56	59	46	43	57	55	66	59	46	42	45			
悪い(B)	31	28	23	31	37	26	24	16	16	32	33	26	18	17	8	37	29	29			
DI値(A)－(B)	△11	△5	△2	△9	△26	△15	△7	△12	9	△10	△9	△9	9	0	25	△20	0	△3			
今－前 / 次－今	6		3	△17		11	19		△3	1		0	△9		25	20		△3			
売上額																					
製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																					
好転(A)	24	26	19	22	11	9	24	31	25	26	26	15	18	25	33	26	35	26			
変わらず	45	44	53	50	46	60	48	41	44	36	44	55	73	67	59	43	39	48			
悪化(B)	31	30	28	28	43	31	28	28	31	38	30	30	9	8	8	31	26	26			
DI値(A)－(B)	△7	△4	△9	△6	△32	△22	△4	3	△6	△12	△4	△15	9	17	25	△5	9	0			
今－前 / 次－今	3		△5	△26		10	7		△9	8		△11	8		8	14		△9			
収益																					
売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																					
増加(A)	18	19	14	9	6	9	24	25	16	20	17	9	18	25	25	20	26	21			
変わらず	50	49	55	66	48	60	38	47	50	42	50	61	64	67	58	51	45	47			
減少(B)	32	32	31	25	46	31	38	28	34	38	33	30	18	8	17	29	29	32			
DI値(A)－(B)	△14	△13	△17	△16	△40	△22	△14	△3	△18	△18	△16	△21	0	17	8	△9	△3	△11			
今－前 / 次－今	1		△4	△24		18	11		△15	2		△5	17		△9	6		△8			
雇用人員																					
需要に対応できる労働状況をお聞きました。																					
多い(A)	3	3	4	3	0	3	3	6	6	0	0	4	9	0	0	3	6	6			
適正	65	61	65	53	57	66	59	44	47	74	65	68	82	83	83	63	68	70			
少ない(B)	32	36	31	44	43	31	38	50	47	26	35	28	9	17	17	34	26	24			
DI値(A)－(B)	△29	△33	△27	△41	△43	△28	△35	△44	△41	△26	△35	△24	0	△17	△17	△31	△20	△18			
今－前 / 次－今	△4		6	△2		15	△9		3	△9		11	△17		0	11		2			
資金繰り																					
資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																					
余裕がある(A)	10	11	8	13	11	11	7	6	10	8	11	7	18	25	17	9	9	3			
支障がない	69	68	74	53	66	72	72	69	77	70	63	65	82	75	83	77	73	79			
苦しい(B)	21	21	18	34	23	17	21	25	13	22	26	28	0	0	0	14	18	18			
DI値(A)－(B)	△11	△10	△10	△21	△12	△6	△14	△19	△3	△14	△15	△21	18	25	17	△5	△9	△15			
今－前 / 次－今	1		0	9		6	△5		16	△1		△6	7		△8	△4		△6			

<参考> 昨年同期と現在の景況感比較(回答146社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「景況感」は良い(A)	32社	22%	20%
昨年と比べ「景況感」は変わらない、横ばい	72社	49%	46%
昨年と比べ「景況感」は悪い(B)	42社	29%	34%
DI値(A)－(B)		△7P	△14P

